



YOU ARE
THE KEY

あなたが
鍵です



会長 佐藤順治 幹事 秋野 忠 クラブ委員 吉野 勲 職業委員 板垣広志 社会委員 小池繁治 国際委員 高橋良士 青少年委員 丹下誠四郎

出席報告：会員 80 (75) 名 出席 63 名 出席率 84.00 % 前回出席率 84.00 % 修正出席 69 名 確定出席率 92.00 %

会員スピーチ

ロータリーとの出会いとその妙味

石 黒 慶之助 君

1931年(昭和6年)国際ロータリー第70地区年次大会において米山梅吉がバナーは「新会員には次の三つの不平がある」と申されました。

(1) 出席しても面白くない

忙しいのに時間が厳重で休めない。スピーチには感動もなく、例会は型通り、食事もうまくない、旧い会員がのさばり私共に声をかけてくれない。地域社会の代表的職業人と称しながら社会や政治にも関心を示さない。何んのための出席かわからない。

(2) クラブに活力が見られない、魅力がない

奉仕を志す者の集団だと言い乍ら何もやっていない。旧い会員はこの位で丁度よいのだと言って吾々に仕事を与えてくれない。バッチを付けた年輩者の昼食会のようだ。

(3) ロータリーは何を目的としているのか教えてくれない

先輩は仲良しのようなのだが、どうしたら仲間に入れるか教えてくれないので、自分はどこに行けばよいかわからない。

と、大きく分類されるようだ。これに対し米山梅吉は、「皆さん、あわてないで下さい。ロータリーは見えないところに重要な仕事があり、目立たぬところに妙味があるのだと申されました。

ここで、ロータリーの重要な仕事とか妙味につい

てお話ししたいのですが、それには時間がかかりすぎます。その前に、私のロータリーとの出会いについてお話しいたしますので、その中からおくみ取り頂ければ有難いと思います。

昭和34年(1959年)春頃、鶴岡にロータリークラブ設立の気運があるから、その説明会を鶴岡ホテルで行うから集まってほしいと連絡され出席いたしました。講師は山大名誉教授安齋徹先生でありました。お話を承わり国際ロータリーの定款、細則が非常に厳格であり、且つ毎週の例会には必ず出席せねばならぬことを教えられ、当時私は46才位で、鶴岡歯科医師会副会長と県歯科医師会の種々な役職を持っていたので、時間の割愛できず創立会員になることを断念いたしました。

その後、小花盛雄先生、三浦岩次郎さん、佐藤伊和治さんなどから毎年のようにお声をおかけ頂きましたが、「そんな偉い人々の仲間に入る資格も能力もない」と言って断わって参りました。しかし、佐藤伊和治さんの会長年度に金井国之助さんが訪ねてきて、例の調子で強硬に推められ、「会員選考委員会で入会の許可されているから必ず入らねば困る」と強引に勧誘され、三浦の叔父からも入会を求められ、しぶしぶ入会したのがロータリーとの出会いであります。その時49才でした。

11月に新徳光一郎さん、五十嵐伊市郎さんと3人

あなたが鍵です — 会員増強にご協力を!

庄内空港の建設を推進しましょう

が一緒入会しました。三浦の叔父からは「出席だけは絶対に守れ」と言われ、覚悟決めて出席を続け、欠席の時は酒田や山形へ多くメークし続けました。入会以来、父の葬式の日だけ一日欠席しただけであります。それからまた続け、22年間の皆出席者になっています。例会への出席なくして親睦も奉仕もあり得ないわけです。出席は会員の義務や責任ではなく、特権であると思うようになりました。

入会して4～5年の間は、先ほど話したような新会員としての不平を持っていましたが、毎年異った役職に付けられる毎に種々な奉仕活動を求められ、奉仕のために新旧の会員の別なく平等に、力を合わせてロータリーの勉強することは人生に何か教えられるものがあることを知り始めました。そして、偉い人々とも共に話し合える機会を与えて頂きました。換言すれば、好むと好まざるに拘らず種々な奉仕を求められ、新しい可能性への挑戦を求められ、自分の中に眠っている才能を引き出され、表現を迫られてきたわけであります。そして「ロータリーでは頼まれたらNOと云わない」慣習が生まれ、「会員はすべてアクティブ会員であるから、何かやらねばならない」という自発的活動力が生まれてきたのだと思います。

6年目になって、鶴岡高専にインターアクトをつくるため、小花先生より第353地区インターアクト委員に推薦され、秋田の渡辺綱彦ガバナーの地区委員総会へつれて行かれました。車中種々ロータリーの解説を受けましたが、あまり興味を覚えるほどではありませんでしたが、後になって先生の情熱に感動することが多かったと思います。

ところがその年の11月(入会後7年目)に、次年度第10代の会長の指名を受けました。正に晴天の霹靂。予期しない難事にめぐり会ったわけです。その当時は会長エレクトとか副会長が会長に予定される制度がなかったので、よもやご指名を受けることなど考えてもありませんでした。私よりも先輩で優秀な方が沢山おられるのに、幹事や副会長も経験していない未熟な会員に会長指名とは驚きのみで、固くお断りいたしました。

私は自分なりに無能で鈍才であると認識していましたし、音痴で歌も唱えず、酒は弱く、マーチャンゴルフも出来ない男です。非社交性で我欲と煩惱に明け暮れている、極めてロータリアンらしくからぬ愚直な男であり、自分では歯医者の仕事で一杯であり、とてもそんな大役を受け入れるわけには行かぬと思いました。

しかも、指名を受ける年度は10周年記念行事、交換学生の受け入れ予定、鶴岡高専へのインターアクト設立、NBロータリークラブとの友好の進展等々が予定される年度であります。私は拒否し続けました。1週間位の間、ねむれぬ日が続きました。その頃、池内方平さんと三浦の叔父が来訪し、「会長経験者全員で協議して決定したのだから断わることは出来ないぞ」と脅迫的に膝づめ談判です。再三辞退すると、「幹事には有能な三井健さんをつけるし、私共もお前の足りないところを皆で支援するからやれ」とのこと。既にお膳立てを自分達で内定し、私の考えなど差しはさむ余裕がない。先輩の友情と好意は判るが、断り方の下手なためか押し切られそうになったところへ小花先輩より電話が入り、「今回の元会長会議で次期会長候補の人選で種々論議したが、君を最適者と決定した。断れば悪い前例となるばかりでなく、他人を傷つけることにもなりかねない。僕も充分支援するから、是非引き受けてほしい」と慰めと激励の言葉を頂きました。私は前途真暗闇の中で、ロータリーの善意と友情という光明を頼り、唯一燈を頼りにお受けすることを決心しました。

ロータリーは恐ろしいものです。好むと好まざるに拘らず、奉仕の機会を与えられます。会長を曲りなりにも終了すれば、温海ロータリークラブの特別代表、これが終われば数々の地区委員、分区代理、大会幹事、そしてガバナーノミニの指名を受けると言うように、宿命的に“超我の奉仕”に追い込まれ、72才の高令になっても未だにずるずるとロータリーに引き込まれている現状であります。

その間、鶴岡クラブの皆様にはどんなにご迷惑をかけ、お世話になったか判りません。会長もガバナ

一も独りでは何も出来ないのです。皆様の心からのご支援がなければつとまるものでありません。私には幸いにも皆様からの暖かい友情と献身的なご援助がありやって来れたのであります。そしてそこに友情が生れ、信じ合える同志ができました。ここに改めて深甚の謝意を表します。

過去25年間のロータリー人生を顧りみる時、金銭では買える貴重な宝物を沢山頂いたと思います。

He Profits Most Who Serrves Best という標語を実感として経験させて頂きました。Profits ということは金銭だけでなく、「人生の妙味」とか「心の充実」とかを意味するものと考えております。

ポールハリスの言によれば、“人生の成功は巨萬の富を得ることではなく、また地位や権力を得ることでもない。如何に多くの友を得るかである”と明言されています。どうぞ皆様この言葉を頑味して下さい。

ロータリーはあくまでも親睦が基礎であり、善意と思いやりの心があれば誰とでも遠慮なく話し合える筈です。クラブ内の会員同志は勿論、100万人の

ロータリアンはすべて皆様からの話しかけを待っております。皆さんは国内は勿論、海外のクラブ例会に予約なしでメークしても断わることはありません。見知らぬ方々でも喜んで迎えてくれます。これは吾々の特権でなくてなんでありましょう。また、海外へ出張されてもバッチをつけておれば、税関でも、警官でも、ホテルでも紳士として接待してくれます。

ロータリーは今や、国際連合40年の業績以上の国際理解や世界平和に貢献しているように思います。皆さんは奉仕の理想に向って、もっと誇りと自信をもってよいのではないのでしょうか。

日本は経済的にも、科学文化においても世界一流の国家となっておりますが、「心おごり礼節を忘れた国」と批判を受けております。これから益々奉仕の理想を求め、世界人類の幸せのため、ロータリーの発展に努力しようではありませんか。

「ロータリーは知ることではなく、心で感得するものだ」と言われたロビンス R.I. 元会長の言葉に共鳴しております。

会長報告

佐藤 順治 君

1. 教育 110 番について

相談件数が少なくなり、今後の対応策を11月12日の例会終了後、理事会、特別委員会メンバーで相談する事に決定しました。

2. 例会場所・時間の変更

イ. 12月10日

場 所 中央公民館
時 間 12:00～12:30 例 会
12:30～13:30

プラネタリウム見学

ロ. 12月17日 クリスマス家族会のため

場 所 グランド・エルサン

3. 佐々木喆彦君が東林山宝蔵寺の住職になりました。

た。11月4日宝蔵寺に於いて就任式があり出席してまいりました。当クラブからは8名出席されました。

幹事報告

秋野 忠君

○会報到着→鹿児島 R.C、酒田 R.C

委員会報告

出席委員会

◎年間皆出席

23年間皆出席 新穂光一郎 君

14 “ 富樫良吉 君

7 “ 藤川享胤 君

◎ 10月100%出席 55名

秋野・阿蘇・張・藤川・平出・早坂・飯白・石井・石川・石黒・板垣(俊)・市川・飯野・川村・黒谷・小池・皆川・斎藤(庄)・塚原・忠鉢・三井(賢)・三井(健)・嶺岸・迎田・諸橋・松田(貞)・松田(士)・中江・中田・斎藤(隆)・佐藤(忠)・佐藤(順)・佐藤(友)・佐藤(元)・新穂・菅原・鈴木(善)・鈴木(弥)・庄司・佐藤(英)・佐々木・斎藤(昭)・白坂・高橋(良)・丹下・津田・手塚(林)・富樫・高田・内山・若生・山口・吉野・関原・佐藤(衛)

消費生活センター 富樫 貞一

12月10日 プラネタリウム 酒井玄蕃と北斗七星
会場変更 視聴覚センター

12月17日 クリスマス家族会
会場変更 グランド・エルサン

12月24日 話題の人とインタビューあれこれ
NHK 坂本 耕一

12月31日 年忘れ例会

親睦活動委員会

会員誕生

藤川 享胤 君・匹田 良平 君
平出 統一 君・皆川 光吉 君
佐藤 衛 君・鈴木 善作 君
佐々木 喆彦 君・斎藤 庄治 君
丹下 誠四郎 君

奥様誕生

飯野 美和 様・小松 久子 様
小林 清 様・中田 安子 様
菅原 和子 様・佐藤 夫佐子(英明) 様
白坂 一世 様・丹下 せい子 様

例会プログラム

11・12月(予定)

11月19日 ヨガの魅力 ヨガ教室 星川 恵美

11月26日 錦鯉の話

日本愛鱗協会県支部長 井上 智

12月 3日 うまい話に御用心

スマイル

佐々木 喆彦 君 晋山結制退董式を終えて
板垣 広志 君 会議所コンペで優勝して
匹田 良平 君 ボウリング大会において団体・個人で優勝して
塚原 初男 君 国際親睦委員台湾行きを期待をこめて

ビジター

鶴岡西R.C 菅原 年雄 君
羽根田 正吉 君

ゲスト

ジュリー・エリザベス・マックレー

